

令和 7 年度

土地改良事業計画書(変更)

(農地中間管理機構関連農地整備事業)

都道府県名	京	都	府
地区名	下	位	田地区
所在地	京都府綾部市	位田町	
事業主体	京都府		

目

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1. 一般気象	
2. 特殊気象	
3. 海 象	
第2節 土地状況	3
1. 地形、土壌及び浸食の程度	
2. 土地分類	
3. 土地利用の状況	
4. 土地所有の状況	
第3節 水利状況	6
1. 用水状況	
2. 排水状況	
3. 河川状況	
第4節 道路概況	13
1. 道路概況	
2. 主要道路一覧表	
第5節 地域農業の概況	14
1. 産業別就業人口	
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	
4. 主要作物作付状況	
5. 農 業 の 動 向	
第6節 地域環境の概況	16
第4章 一 般 計 画	17
第1節 事業計画の要旨	17
1. 要 旨	
2. 事業別面積	

次

第2節 営農計画及び土地利用計画	17
1. 営農計画の概要	
2. 土地利用区分	
3. 作付方式	
4. 生産計画	
5. 労働改善計画	
6. 級地別土地利用区分	
7. 土地配分計画	
第3節 用水計画	22
1. 計画基準年	
2. かんがい方式	
3. 計画用水系統	
4. 計画用水量	
5. 水源計画	
第4節 排水計画	28
1. 計画基準雨量	
2. 計画排水方式	
3. 計画排水系統	
4. 計画排水量	
5. 排水対策	
6. 湛水検討	
第5節 道路計画	31
1. 道路及び索道	
2. 路線配置図	
第6節 農用地造成計画	32
1. 農用地造成計画	
2. 土 壌 改 良	
第7節 洪水調節計画	33
1. 計画基準雨量	
2. 計画洪水量及び調節量	
3. 貯 水 池	
4. 洪水調節検討	
5. 管 理 計 画	
第8節 干拓計画	35

第9節	農用地整備計画	35
1.	区画整理	
2.	暗渠排水	
3.	客土	
4.	農地保全	
第10節	老朽ため池改修計画	38
1.	洪水吐改修計画	
2.	堤体補強計画	
3.	取水施設改修計画	
第5章	主要工事計画	39
第1節	用水施設	39
1.	貯水池	
2.	頭首工	
3.	揚水機	
4.	用水路	
5.	その他かんがい施設	
第2節	排水施設	40
1.	排水水門	
2.	排水機	
3.	排水路	
4.	その他排水施設	
第3節	道路及び索道	42
1.	道路	
2.	索道	
第4節	農用地造成	43
1.	農用地造成工	
2.	土壌改良	
第5節	洪水調節施設	45
1.	貯水池	
2.	頭首工及び導水路	
第6節	干拓施設	46
1.	堤防	
2.	潮止め	
3.	付属施設	
4.	埋立	
第7節	農用地整備施設	47
1.	区画整理	

2.	暗渠排水	
3.	客土	
4.	除礫	
5.	農地保全	
第8節	老朽ため池改修施設	51
1.	貯水池	
2.	堤体補強施設	
第6章	附帯工事計画	52
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	52
第8章	環境との調和への配慮	52
第9章	換地計画の概要	53
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	53
第2節	換地区の設定	53
1.	換地区の名称、所在、面積	
2.	換地区を設定する理由	
第3節	換地計画樹立の基本方針	53
1.	従前の土地の地積の基準	
2.	用途別予定地積	
3.	農用地集団化の方針	
4.	非農用地の換地方法	
第4節	土地の評価及び清算の方法	56
1.	評価の方法	
2.	清算の方法	
第5節	換地計画樹立の年度計画	56
第6節	換地事務処理体制	57
第7節	換地処分 of 時期に関する特則	57
第10章	事業費の総額及び内訳	58
第11章	効用	58
第12章	関連する事業	59
第13章	現況・計画図面	59

第1章 目 的

農業の生産基盤である農地形質の改善、用排水路、農道の整備、農地の集団化等を総合的に実施し、中型機械の導入等により作業の一貫系を目指し、労力の合理化、生産性の向上及び所得の増大を図ることを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地中間管理機構関連農地整備事業	京都府綾部市位田町

第2節 地 積

(令和 7年 7月現在) (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
農地中間管理機構関連農地整備事業	綾 部 市	(10.3) 9.7	0.0			(0.9) 1.4	(11.2) 11.1	
	計	(10.3) 9.7	0.0			(0.9) 1.4	(11.2) 11.1	
	計							
合 計		(10.3) 9.7	0.0			(0.9) 1.4	(11.2) 11.1	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	舞鶴海洋気象台	かんがい期	非かんがい期	計 又 は 平 均	備 考
観測期間	年 ～ 年	5月 ～ 8月	9月 ～ 4月		
平 均 気 温(℃)		22.3	9.8	14.0	
降水量	平 均(mm)	624.4	1,247.1	1,871.5	
	基 準 年(mm)				
降水日数	平 均(日)				
	基 準 年(日)				
根 雪 期 間		1月 22日 ～ 3月 5日	42日間		
無 霜 期 間		5月 日 ～ 10月 日	日間		
最 多 風 向		最 大 風 速 (風 向)	m/s ()	最多風向発生時期 月 ～ 月 最大風速発生年月日	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
舞鶴海洋気象台																
観 測 期 間 年～ 年	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	数量	年 月 日	発生 確率	
最大日雨量(mm)	225.3	S34. 9. 26		180.0	S40. 9. 14		178.0	S36. 10. 27		158.0	S47. 7. 11		157.0	S46. 8. 31		
最大時間雨量(mm)	80.2	S32. 7. 16		48.0	S37. 8. 5		47.0	S30. 8. 20		46.0	S33. 7. 24		34.0	S38. 6. 4		
最大4時間雨量(mm)	115.9	S34. 9. 26		105.0	S47. 9. 16		80.5	S47. 7. 11		57.2	S40. 9. 17		38.5	S51. 9. 9		
最大連続雨量(mm)	469.8	S40. 9. 17		415.9	S34. 9. 26		361.5	S47. 7. 12		336.3	S34. 12. 21		333.5	S51. 9. 9		
最大連続干天日数 (日)	27	S48. 7. 4 ～ 7. 30		19	S38. 8. 4 ～ 8. 22		19	S39. 8. 3 ～ 8. 21		16	S38. 5. 13 ～ 5. 28		12	S34. 7. 26 ～ 8. 5		

3. 海 象

該当無し

(第3表-3)

観測所名		既往最高	さく望平均	上下弦平均	平均潮位	上下弦平均	さく望平均	既往最低	備 考
観測期間	年～ 年	潮 位	満 潮 位	満 潮 位		干 潮 位	干 潮 位	潮 位	
実 測 値 (m)									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積(ha)	(10.3) 10.2					(10.3) 10.2	0.0							0.0	33.2	30.3	
	比率(%)	100					100	100							100			
合計	面積(ha)	(10.3) 10.2					(10.3) 10.2	0.0							0.0			
	比率(%)	100					100	100							100			

(第4表-1-2)

項目 土壌区分名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考	
	土 壌 断 面 性							泥 炭 層 黒泥炭層 及 び グライ層	堆 積 式	母 材	事 業 名			
	色	腐食	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性						農地中間管 理機構関連 農地整備事 業			計
					表 土	下 層 土								
					一 層	二 層	三 層							
灰色土壌 壤土マンガン型								なし	沖積		(10.3) 10.2		(10.3) 10.2	G63
計											(10.3) 10.2		(10.3) 10.2	

該当無し

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～ 5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面 積 (ha)											
	比 率 (%)											

2. 土 地 分 類

該当無し

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成 (ha)										計	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			*	3° ～ 8°	8° ～12°	12° ～15°	*	15° ～20°	20° ～25°	25° ～30°	*			30° 以上
													*は傾斜以外の要因によるもの	
計														

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓 (ha)					備 考
		一 級 地	二 級 地	三 級 地	四 級 地	計	
	計						

3. 土地利用の状況

(平成30年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地 利用別 市町村名	耕 地 (ha)						山 林 (ha)		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶 園	その他 樹園地	用材林	薪炭林					
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	綾 部 市	(10.3) 10.2	0.0									0.9	(11.2) 11.1	
	計	(10.3) 10.2	0.0									0.9	(11.2) 11.1	
合 計		(10.3) 10.2	0.0									0.9	(11.2) 11.1	

4. 土地所有の状況

(平成30年12月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区 分	個 人	国 有 地	市 有 地			計	備 考
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	面 積 (ha)	(10.3) 10.2		0.9			(11.2) 11.1	
	受益者数 (人)	65						
	筆 数 (筆)	138						
	権 利 関 係 備 考 (関 係 戸 数)	66						
		(66)						
合 計	面 積 (ha)	(10.3) 10.2		0.9			(11.2) 11.1	
	受益者数 (人)	65						
	筆 数 (筆)	138						
	権 利 関 係 備 考 (関 係 戸 数)	66						
		(66)						

第3節 水 利 状 況

1. 用 水 状 況

本地区は、瀬戸川及び由良川より取水している栗村用水を用水源としている。

地区内の水路は土水路、二次製品及び三方コンクリート等であるが、老朽化及び脆弱化が著しく、水管理及び維持管理に多大な労力を費やしている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 別紙参照

(2) 用 水 施 設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表－1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500 ha以上		500 ～ 100 ha		100 ha未満									
	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	m ³ /s	個所	m ³ /s	m ³ /s		
農地中間管理機構 関連農地整備事業	貯水池														
	井堰														
	自然取入口					1	10.20	1	10.20			1	0.147	0.147	
	揚水機					1	1.01	1	1.01			1	0.019	0.019	
	その他														
	計					2	10.21	2	10.21			2	0.166	0.166	
合計						2	10.21	2	10.21			2	0.166	0.166	

凡 例

地区外

系 統 名		
面 積(ha)		
イ	ハ	ホ
□	ニ	ヘ

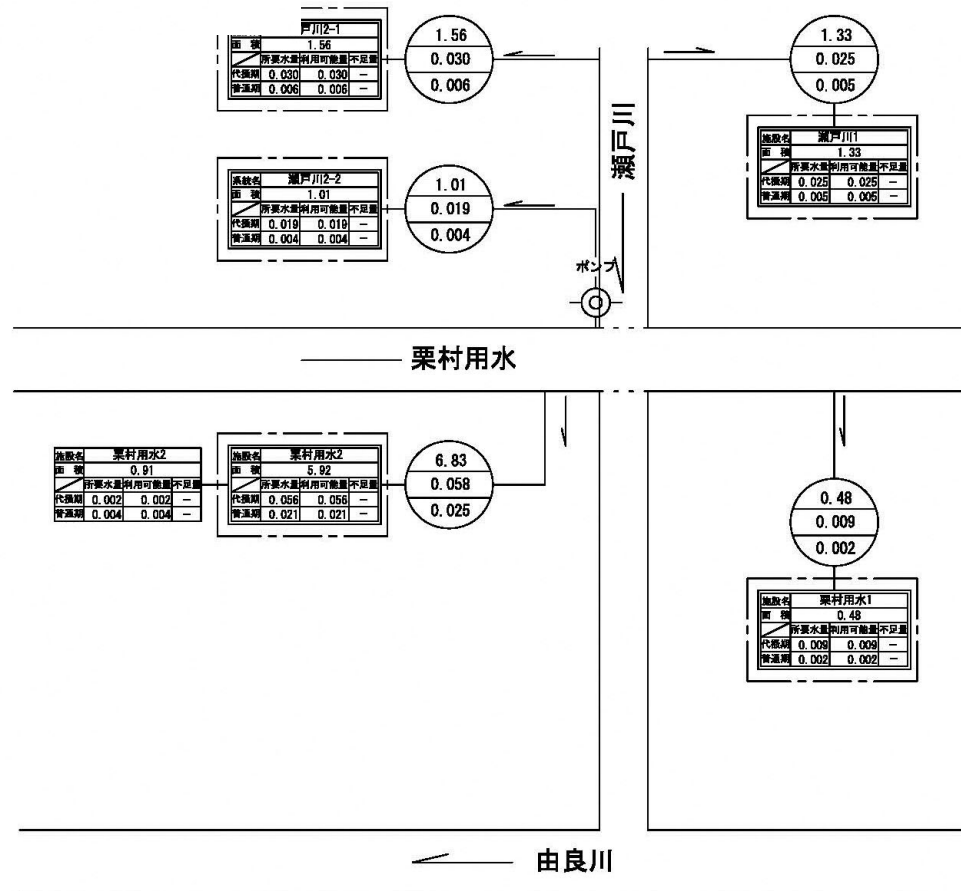
地区内

系 統 名		
面 積(ha)		
イ	ハ	ホ
□	ニ	ヘ

イ：代かき期所用水量(m^3/s)
□：普通期所用水量(m^3/s)
ハ：代かき期利用可能量(m^3/s)
ニ：普通期利用可能量(m^3/s)
ホ：不 足 量(m^3/s)

面 積 (ha)
代かき期通水量 (m^3/s)
普通期通水量 (m^3/s)

イ：代かき期所用水量(m³/s)
 □：普通期所用水量(m³/s)
 ハ：代かき期利用可能量(m³/s)
 ニ：普通期利用可能量(m³/s)
 ホ：不足量(m³/s)



凡 例																																	
地区外			地区内			イ：代かき期所用水量(m^3/s) □：普通期所用水量(m^3/s) ハ：代かき期利用可能量(m^3/s) ニ：普通期利用可能量(m^3/s) ホ：不 足 量(m^3/s) 面 積 (ha) 代かき期通水量 (m^3/s) 普通期通水量 (m^3/s)																											
<table><tr><th colspan="3">系 統 名</th></tr><tr><th colspan="3">面 積(ha)</th></tr><tr><td>イ</td><td>ハ</td><td>ホ</td></tr><tr><td>□</td><td>ニ</td><td>ヘ</td></tr></table>			系 統 名			面 積(ha)			イ	ハ	ホ	□	ニ	ヘ	<table><tr><th colspan="3">系 統 名</th></tr><tr><th colspan="3">面 積(ha)</th></tr><tr><td>イ</td><td>ハ</td><td>ホ</td></tr><tr><td>□</td><td>ニ</td><td>ヘ</td></tr></table>			系 統 名			面 積(ha)			イ	ハ	ホ	□	ニ	ヘ				
系 統 名																																	
面 積(ha)																																	
イ	ハ	ホ																															
□	ニ	ヘ																															
系 統 名																																	
面 積(ha)																																	
イ	ハ	ホ																															
□	ニ	ヘ																															

イ：代かき期所用水量(m³/s)
 □：普通期所用水量(m³/s)
 ハ：代かき期利用可能量(m³/s)
 ニ：普通期利用可能量(m³/s)
 ホ：不足量(m³/s)

(4) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 個所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地中間管理機構 関連農地整備事業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路		(10.3) 10.2	土水路、二次 製品等	不整	不明	区画整理	
	その他							
	計		(10.3) 10.2					
合計			(10.3) 10.2					

(3) 用水に関する被害状況

該当無し

(7) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		平均減産量 作物名減産量(t)		
				平均 (m³/s)	基準年 (m³/s)	平均 (千m³)	基準年 (千m³)			
	計									
合計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池が決壊した場合の想定被害状況

該当無し

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
	計										
合計											

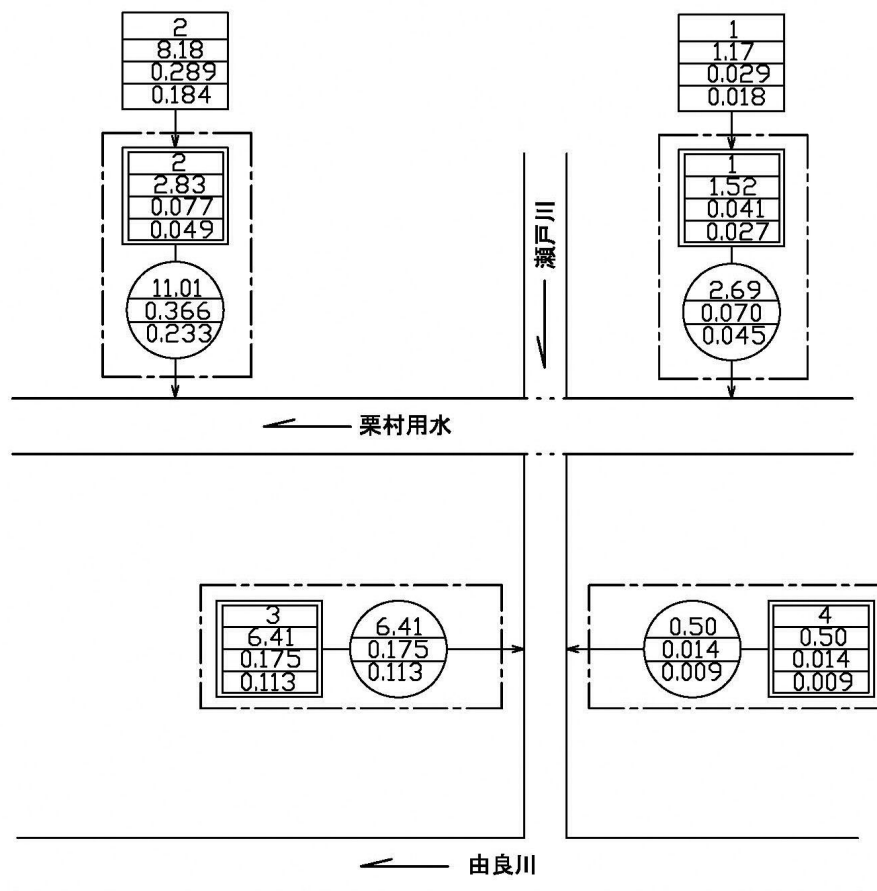
2. 排水状況

排水路は土水路、二次製品等であるが、老朽化及び脆弱化が著しく、用水路と同様に水管理及び維持管理に大変苦慮している。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図 別紙参照

現況排水系統図



凡 例			
地外内	地区内	地区面積	面積 : ha
系統番号	系統番号	1/10年排水量	排水量, 流下量 : m / s
流域面積	流域面積	1/2年排水量	
1/10年排水量	1/10年排水量		
1/2年排水量	1/2年排水量		

(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表

(第5表－4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			500 ha以上		500 ha～100 ha		100 ha未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	自然	排水路					4	20.61	4	20.61		0.625	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及排水機											
		排水路及排水機											
	計						4	20.61	4	20.61		0.625	
合計						4	20.61	4	20.61		0.625		

(4) 改修を要する施設一覧表

(第5表－5)

事業名	項目		施設名又は 個所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	自然	排水路		(11.2) 11.1	土水路、二次製 品等	不整	不明	区画整理	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水 機							
	計			(11.2) 11.1		不整	不明	区画整理	
合計			(11.2) 11.1		不整	不明	区画整理		

(3) 排水に関する被害状況

該当無し

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

3. 河川状況

該当無し

(1) 河川の現況

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道 路 概 況

1. 道 路 概 況

地区内の道路は未整備であるため、幅員狭小で耕作に支障を来している。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			
府道		府 道		6.0	5.0	アスファルト 舗装	否	
農道		農 道	2,407	2.0～2.5	1.5～2.0	未舗装	要	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 熱 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 飲 売 小 食 売 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
綾部市	16,211	1,477		4	8	1,133	3,791	81	810	2,005	213	133	1,735	600	4,221	
計	16,211	1,477		4	8	1,133	3,791	81	810	2,005	213	133	1,735	600	4,221	
比 率 (%)	100	9.1		0.0	0.0	7.0	23.4	0.5	5.0	12.4	1.3	0.8	10.7	3.7	26.1	

(平成27年 国勢調査)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経営農地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕 地 の 分散状況		専兼業別農家 数 (戸)			備考	
		例 外 規定の 適用を 受ける もの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当 た り 団 地 数	団地 当 た り 面 積 (ha)	専 業	兼 業			
																						第一種	第二種		
綾部市	2382	3	373	585	140	177						1104	0.98	0.08	0.04	1.09		1.09			535	64	679		
計	2382	3	373	585	140	177						1104	0.98	0.08	0.04	1.09		1.09			535	64	679		
比 率 (%)	100	0	16	25	6	53						61	90	6	4	100		100			42	5	53		

(調査年度：平成27年度 調査名：農業センサス・国勢調査・統計年報)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項目	動力農機具								主要家畜										備考
		耕運機 トラクター		田植機		バインダー		コンバイン		乳用牛		役用牛		豚		にわとり 採卵		にわとり ブロイラー		
		数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	頭数 (頭)	戸数 (戸)	羽 (羽)	戸数 (戸)	羽 (羽)	戸数 (戸)	
綾部市		1,210		996				912												
計		791		798				740												
100戸当り 数量 (台、頭)																				
利用戸数 割合 (%)																				

(出典：平成27年 農業センサス)

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			綾部市				計	平 均		備 考
総 耕 地 面 積(ha)			1,393 ha				1,393 ha			
総 本 地 面 積(ha)										
区 分			作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当たり収量 (kg/10a)		
作 物 名										
田	表 作	水 稻	1,248							
	裏 作	麦								
	小 計		1,248							
畑	春夏作	野菜類	98							
	秋冬作	芋豆飼料類								
	小 計		98							
樹園地	果 樹		47							
	小 計		47							
計			1,393							
市町村別延べ作付率 (%)										

(出典：平成27年 農業センサス)

5. 農業の動向

(第7表－5)

項目 区分	農 業			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指定等	備 考
	種 別	B	A	地 目	B	A	作物 名	B	A	家 畜 名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を 100とする指数）	総農家数			耕 地			水 稻		88	乳用牛			トラクター 耕 運 機		78	農振指定 S.47.3	A：2015年 (農林水産省 統計年報) (農業センサス) B： C：2010年 農林水産省 統計年報) (農業センサス)
	専 業 農 家 数		104	田			麦		76	役用牛			田 植 機		78		
	第 一 種 専 業 農 家 数		65	畑			野菜			豚			コンバイン		77		
	第 二 種 専 業 農 家 数		71				花卉			鶏 採卵							
	農 業 従事者数																
変化の理由	農業従事者の高齢化が進み、他産業との兼業を営んでいた労働者が農業専業となったため。			専門化が進み、一時的な収穫より土地利用回数の多い畑作に移行しているため。									農業の受委託が進展し、農業機械の大型化へ移行しているため。				

第6節 地域環境の概況

地区内の幹線水路は年中水量がある。
現在はカエルやヘビなどが生息する自然環境である。

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

事業実施により大区画化及び道水路の整備を行い、農作業の効率化を図るとともに、担い手への集積を図り、経営規模の拡大を行う。
また、付加価値のある高収益作物の導入を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	農地中間管理機構関連農地整備事業																		計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	道水 路 (ha)	非農 用地 (ha)	沈砂 池 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普通 畑 (ha)	牧草 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	道水 路 (ha)	非農 用地 (ha)	沈砂 池 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)		
区 画 整 理	(9.8) 9.7	0.0			1.4				(11.21) 11.1										(11.2) 11.1	
計	(9.8) 9.7	0.0			1.4				(11.21) 11.1										(11.2) 11.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

大型機械による効率的な営農を行うため農地の集団化を図り、近郊農業地帯の利点を生かした高付加価値作物を導入し、農業経営向上の確立を目指す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	現況	10.3	0.0					10.3			0.9	11.2	
農地中間管理機構 関連農地整備事業	計画	(9.8) 9.7	0.0					(9.8) 9.7			1.4	(11.2) 11.1	
計	現況	10.3	0.0					10.3			0.9	11.2	
	計画	(9.8) 9.7	0.0					(9.89) 9.7			1.4	(11.2) 11.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営 類型	土地利 用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農地中間管理機構 関連農地整備事業	現 況	水稻	田	主食用米(7.4ha)												主食用米(7.4ha)												主食用米(7.4ha)												
				糯米(1.3ha)												糯米(1.3ha)												糯米(1.3ha)												
		畑																																						
	計 画	水稻 + 万願寺とうがらし、 紫ずきん、大納言小豆、白菜	輪換田	主食用米 (6.5ha)												主食用米 (6.5ha)												主食用米 (6.5ha)												
				糯米 (3.2ha)												糯米 (3.2ha)												糯米 (3.2ha)												
				万願寺とうがらし(0.9ha)												万願寺とうがらし(0.9ha)												万願寺とうがらし(0.9ha)												
				紫ずきん(0.7ha)												紫ずきん(0.7ha)												紫ずきん(0.7ha)												
				大納言小豆(0.7ha)												大納言小豆(0.7ha)												大納言小豆(0.7ha)												
				白菜(0.5ha)												白菜(0.5ha)												白菜(0.5ha)												
		万願寺とうがらし	畑	万願寺とうがらし(0.9ha)												万願寺とうがらし(0.9ha)												万願寺とうがらし(0.9ha)												

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり収量 増減	
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	水田	表作	水稲 主食用米	(8.8)	(6.5)	(-2.3)	(100)	(69.9)	505	(520)	(15)	(32.8)	(33.8)	(1.0)		(1.0)	水管理
				7.4	6.3	-1.1	78	66.0		515	10	31.8	32.4	0.6		0.6	
			糯米	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0)	(0.0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)	水管理
				1.3	3.2	1.9	14	34.0	390	398	8	12.4	12.7	0.3		0.3	
			万願寺とう がらし		(0.9)	(0.9)		(9.7)	2925	(3364)	(439)		(30.3)	(30.3)	(30.3)		
					0.0	0.0		0.0		0	-2925		0	0	0		
			紫ずきん		(0.7)	(0.7)		(7.5)	433	(468)	(35)		(3.3)	(3.3)	(3.3)		
				0.0	0.0		0.0		0	-433		0	0	0			
	大納言小豆		(0.7)	(0.7)		(7.5)	55	(59)	(4)		(0.4)	(0.4)	(0.4)				
			0.0	0.0		0.0		0	-55		0	0	0				
	裏一作	白菜		(0.5)	(0.5)		(5.4)	1741	(1967)	(226)		(9.8)	(9.8)	(9.8)			
			0.0	0.0		0.0		0	-1741		0	0	0				
普通畑	春夏作	万願寺とう がらし		0.0	0.0		0.0	2925	(3364)	(439)		0	0	0			
									0	-2925							
	秋冬作																
計																	
合 計				(8.8) 8.7	(9.3) 9.5	(0.5) 0.8	(100) 92	100									

5. 労働改善計画

(第9表－4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考	
				区分	現況	計画	増減		
農地中間管理機構 関連農地整備事業	水田	水稲 主食用米	(6.5)	人 力	471.8	80.8	-391.0		
			6.3	機 械 力	186.0	52.7	-133.3		
		糯米	(0.0)	人 力	(0)	(0)	(0)		
			3.2	機 械 力	471.8 186.0	80.8 52.7	-391.0 -133.3		
	輪換田 畑	万願寺 とうがらし	(0.9)	人 力	(980.0) 0.0	(783.0) 0.0	(-197.0) 0.0		
			機 械 力	(115.0) 0.0	(28.5) 0.0	(-86.5) 0.0			
		紫ずきん	(0.7)	人 力	(2608.0) 0.0	(2383.4) 0.0	(-224.6) 0.0		
			機 械 力	(268.0) 0.0	(103.3) 0.0	(-164.7) 0.0			
		夫納言小豆	(0.7)	人 力	(81.5) 0.0	(156.1) 0.0	(-485.1) 0.0		
			機 械 力	(162.9) 0.0	(32.7) 0.0	(74.6) 0.0			
		白菜	(0.5)	人 力	(760.1) 0.0	(643.5) 0.0	(-116.6) 0.0		
			機 械 力	(132.6) 0.0	(106.0) 0.0	(-26.6) 0.0			
		計		(9.3) 9.5					
		合 計		(9.3) 9.5					

6. 級地別土地利用区分

該当無し

(第9表-5)

区 分		農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					備 考
土地利用区分		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農 地	水 田											
	輪 換 耕 地											
	畑											
	(普 通 畑)											
	(牧 草 地)											
	樹 園 地											
	(果 樹 園)											
	(桑 園)											
そ の 他												
計												

7. 土地配分計画

該当無し

(第9表-6)

項 目 区 分	配 分 戸 数 (戸)	地 目 別 配 分 面 積 (ha)							備 考
		田	輪 換 耕 地	畑				計	
				普 通 畑	牧 草 地	樹 園 地			
増 反		()	()	()	()	()			
入 植		()	()	()	()	()			

第3節 用 水 計 画

1. 計画基準年

計画基準年は、昭和23年とする。

これは、昭和63年から平成29年の観測記録の1/10年確率計算から、かんがい期有効雨量及び連続干天日数より決定した。

2. 計画かんがい方式

水田 … 開水路による湛水かんがい

畑 … 開水路によるうね間かんがい

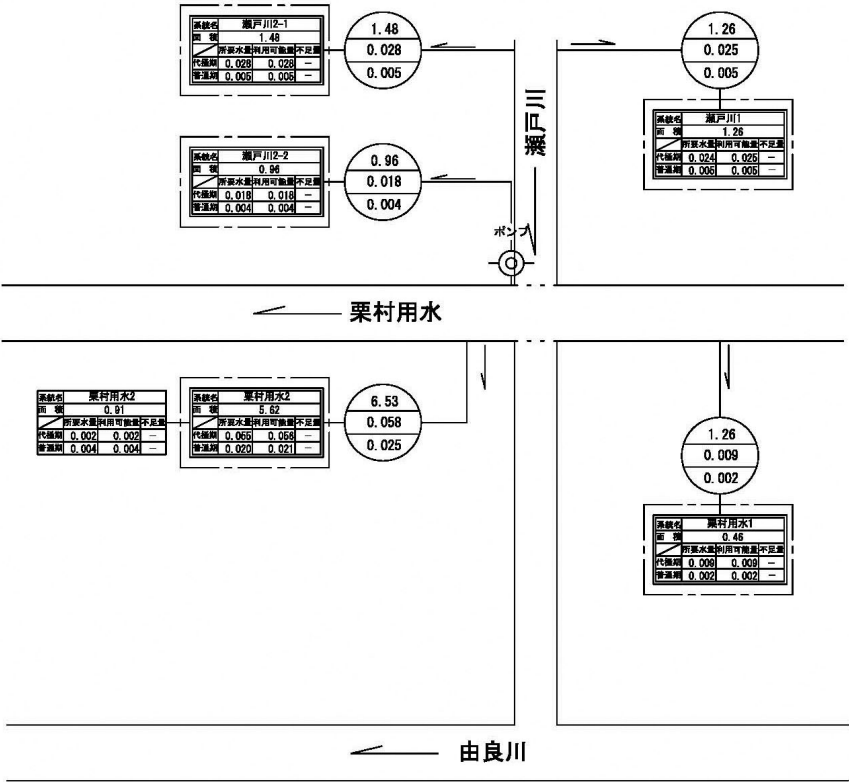
かんがい期間 5月 1日 ～ 8月 23日

代 掻 期 間 5月 1日 ～ 5月 5日

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 別紙参照

計画用水系統図



凡 例		
地区外	地区内	面積 (ha)
系統名	系統名	代かき期通水量 (m³/s)
面積(ha)	面積(ha)	普通期通水量 (m³/s)
代かき期通水量(m³/s)	代かき期通水量(m³/s)	
普通期通水量(m³/s)	普通期通水量(m³/s)	

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名			普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	1日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計画 単位数 用水量 (mm/日)			面積 (ha)	平均		最大
		農地 中間 管理 機 関 連 農 地 備 整 事 業	計	計	計画 単位数 用水量 (mm/日)	代掻 単位数 用水量 (mm)														
河川	農業 用水	10.69		10.69	21.8	140	10.69	3.0	6	0.0					0.138	15	0.013	0.138		
計		10.69		10.69	21.8	140	10.69	3.0	6	0.0					0.138	15	0.013	0.138		

(2) 営農飲雑用水

該当無し

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水 量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備 考
		事 業 名		計	単位給水量 (L/日)	最大給水量 (L/日)			

5. 水 源 計 画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目 区 分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 水 量		水源依存量		水源工種	備 考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 : α
農地 中間 管理 機構 関連 農業 整備 事業		176	20	156	184		184	184	0	0	河川	184		15%
	計	176	20	156	184		184	184	0	0	河川	184		

(2) 用 水 対 策

(7) 貯 水 池

該当無し

(第10表-3)

項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (千m ³)	備 考
			事 業 名							
	直 接	間 接			計					

(イ) 井堰及び自然取入口 該当無し

(第10表-4)

項 目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取 水 量(m ³ /s)		備 考
			事 業 名			最 大	平 均	
					計			
計								

(ウ) 揚 水 機 該当無し

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量(m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		農地中間管理 機構関連農地 整備事業		計							
計											

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

名 称	項 目	かんがい面積 (ha)		最大通水量 (m³/s)	延 長 (m)	構 造	備 考	
		事 業 名						
		農地中間管理 機構関連農地 整備事業	計					
支線用水路		10.69		10.69	0.138	(1,805.0) 1,368.3	UF250～350、積みブロック	
計		10.69		10.69	0.138	(1,805.0) 1,368.3		

(オ) その他の水源施設

該当無し

(3) 水 温 水 質

有害なる成分は含まない。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

土地改良事業排水計画について（S 5 0 . 1 0 . 1）

1 / 1 0 年確率雨量 214 mm / 日
1 / 2 年確率雨量 131 mm / 日

2. 計画排水方式

開水路による自然排水方式

3. 計画排水系統

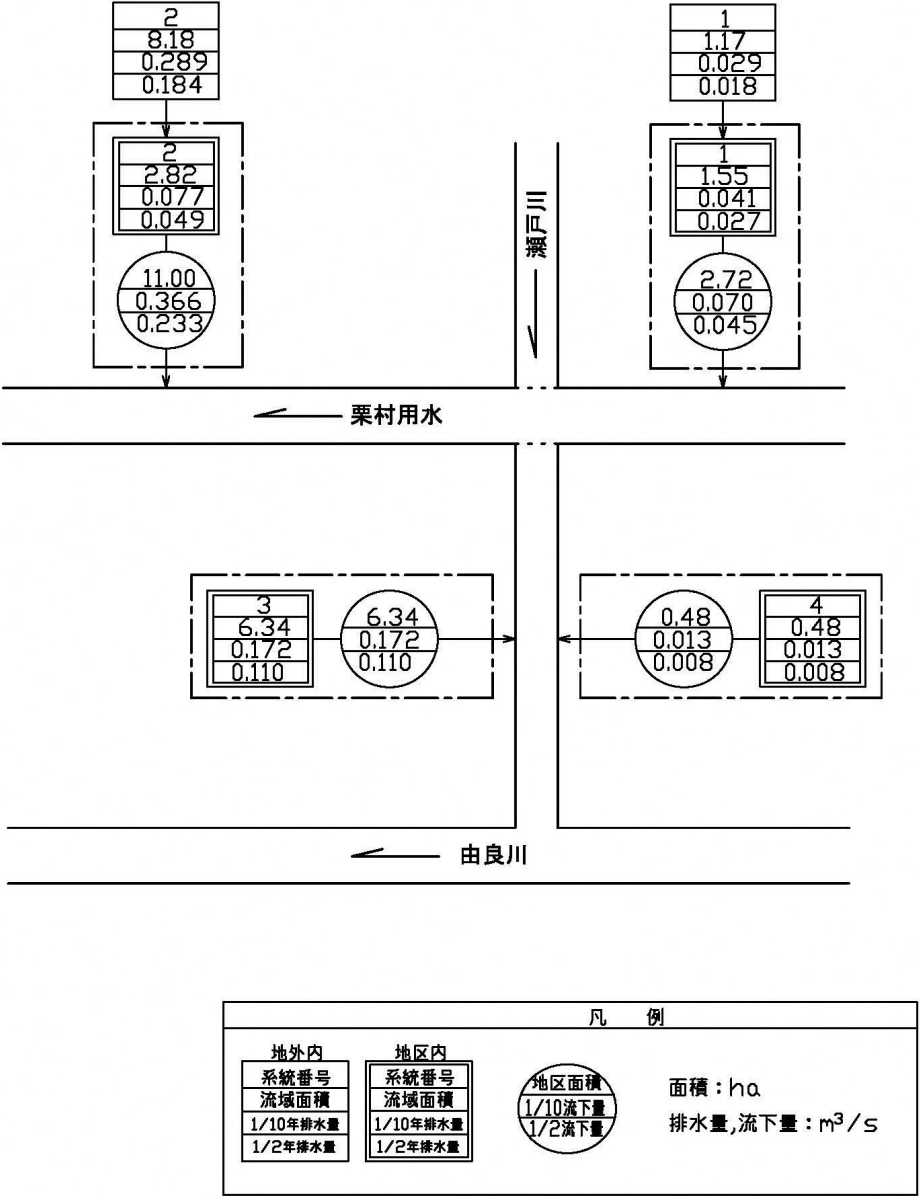
計画排水系統模式図 別紙参照

4. 計画排水量

（第11表－1）

項目 排水系統名	受益面積 (ha)		流 域 面 積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全 排 水 量 (m ³ /s)			単 位 排 水 量 (m ³ /s/km ²)		備 考
	事 業 名		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地	
	農地中間管理機構 関連農地整備事業	計									自然排水	機械排水			
支線排水路	(11.2) 11.1	(11.2) 11.1	0.09		214					0.357	0.264		3.972	2.750	
計	(11.2) 11.1	(11.2) 11.1	0.09		214					0.357	0.264		3.972	2.750	

計画排水系統図



5. 排水対策

(1) 排水水門

該当無し

(第11表-2)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
計										

(2) 排水機

該当無し

(第11表-3)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 機				備 考
		事 業 名			排 水 量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実 揚 程 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流 域 面 積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地中間管 理機構関連 農地整備事 業		計							
支線排水	0.205	(11.2) 11.1		(11.2) 11.1	0.621	(1,084.0) 1,197.0	ベンチリウム BF250～550 コンクリート柵渠500×600	瀬戸川			
						－					
計		(11.2) 11.1		(11.2) 11.1		(1,084.0) 1,197.0					

(4) その他

該当無し

6. 湛水検討

該当無し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第 12 表-1)

路線名	項 目	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
	支線道路	4.0 (3.0) × 1.4	砂利舗装	府道に取付	
	耕作道路	2.5 (2.0) × 0.1	砂利舗装	農道に取付	

(1) 索 道

該当無し

(第 12 表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

別 紙 参 照

第6節 農用地造成計画
該当無し

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 目	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考

(2) 末端道水路配置図

2. 土 壤 改 良

(第13表-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)	土 壤 名 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	リ ン 酸 吸 収 係 数 (mg/100g)	h a 当 た り 所 要 量			備 考
			H ₂ O	K C l			石 灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

該当無し

1. 計画基準雨量

日雨量 mm/日

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調 節 後 最 大 流 量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)	備 考

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項 目 貯水池名	流 域 面 積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量 (千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容量	他 目 的			

4. 洪水調節検討

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5. 管 理 計 画

- (1) 管 理 機 構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画

該当無し

(第15表)

項 目 名 称	延 長 (m)	計画高潮 (水) 位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区 画 整 理

(1) 区 画 の 形 状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
100×100	1.0	(3.3) 3.4	(34) 35		— 0.0
	0.5	(6.3) 5.6	(64) 58		
	0.3	(0.2) 0.7	(2) 7		
計		(9.8) 9.7			

(2) 表 土 扱 い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表 土 扱 い 要 否 の 理 由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
	地力保全	15	(14,400) 14,250	表土扱い土量 (9.6) 本地面積9.5ha×0.15m

(2) 末端道水路配置図

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当無し

(第16表-3-1)

区 分	項 目	面 積 (ha)		土壌統(区)名	基 準 雨 量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の 排 水 方 法	備 考
		事 業 名							
		農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	計						
	本暗渠								
	計								

(2) 心土破碎 該当無し

(第16表-3-2)

区 分	項 目	面 積 (ha)		土壌統(区)名	土 壌 硬 度	備 考
		事 業 名				
			計			
計						

3. 客 土

該当無し

(第16表-4)

区 分	項 目	面 積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10 a 当り 客 土 量 (m³)	土壌の性質		備 考
		事 業 名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受 益 地	採 土 地 (客土材料)	
				計									
				13.1									
	計												

4. 農 地 保 全

該当無し

(1) 防 風 林

(第16表-5-1)

項 目 名 称	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排 水 工

(第16表-5-2)

項 目 名 称	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全 排 水 量 (m ³ /s)	

(3) 浸食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項 目 施 設 名	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考
計				

第10節 老朽ため池改修計画

該当無し

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

(2) 計画洪水量

2. 堤体補強計画

3. 取水施設改修計画

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当無し

(第17表-1)

名 称				位 置						備 考
堤 体	型 式	流 域 面 積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎地盤地 質	貯 水 量 (千m ³)		
		直 接	間 接					総貯水量	有効貯水量	
	洪水吐	型 式		洪 水 量 (m ³ /s)	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	

2. 頭首工

該当無し

(第17表-2)

名 称				位 置				備 考
形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	附 帶 施 設	
		固 定 部	可 動 部	計				

3. 揚水機

該当無し

(第17表-3)

項 目 名 称	位置	揚 水 量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台数 (台)	型 式	動 力 (kw)	台数 (台)	

4. 用 水 路

(第17表-4)

水路名 項 目	かんがい面 積 (ha)			通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル そ の 他	計				
	農地中間管 理機構関連 農地整備事 業		計								
支線用水路	(10.3) 9.7		(10.3) 9.7	0.138	(1.8) 1.4		(1.8) 1.4	UF250～350、 積みブロック		一筆給水工	
計	(10.3) 9.7		(10.3) 9.7		(1.8) 1.4		(1.8) 1.4				

5. その他かんがい施設
該当無し

第2節 排水施設

1. 排水水門
該当無し

(第18表-1)

名 称 項 目	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	備 考
計							

2. 排水機
該当無し

(第18表-2)

名 称 項 目	位 置	排 水 量	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力	台 数 (台)	
計											

3. 排 水 路

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排 水 量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開 き よ	トンネル そ の 他	計				
	農地中間管 理機構関連 農地整備事 業		計								
支線排水路	(11.2) 11.1		(11.2) 11.1	0.61	(1.084) 1.197	－	(1.084) 1.197	ベンチフリューム コンクリート柵渠	1/400	一筆排水工	
計	(11.2) 11.1		(11.2) 11.1	0.61	(1.084) 1.197	－	(1.084) 1.197				

4. その他排水施設

特記事項無し

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区 分 \ 項 目	路 線 名	全巾 (有効)	× 延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備 考
					名 称	構 造	数 量(箇所)				
支線道路		4.0 (3.0)	× 1.4	砂利舗装							
耕作道路		2.5 (2.0)	× 0.1	砂利舗装							
計			1.5								

(3) 道路主要構造物

該当無し

(第19表-2)

路 線 名 \ 項 目	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考

2. 索 道

該当無し

(第19表-3)

名 称 \ 項 目	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 (kw)	

第4節 農用地造成

該当無し

1. 農用地造成工

(1) 抜 根

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項 目 区 分	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

(3) 開 墾 作 業

(第20表-3)

項 目 区 分		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造 成 工 法			
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 土 壤 改 良

(第20表－7)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	石 灰 量 (t)	リン酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
計					

第5節 洪水調節施設

該当無し

1. 貯 水 池

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭 首 工

(第21表－2)

名 称			位 置					備 考
型 式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計画洪水位 (m)	付 帯 施 設	
			固 定 部	可 動 部	計			

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m^3/s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

該当無し

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	形式	延長 (m)	構造					原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 附属施設

4. 埋 立

(第22表-3)

区 分 \ 項 目	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考

第7節 農用地整備施設

1. 区 画 整 理

(1) 区 画 整 理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 区		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量(m ³)	面 積 (ha)	土 量(m ³)	
全 工 区	(9.8) 9.7	100 × 100		(9.8) 9.7	(14,400) 14,250	表土扱い土量 (9.6) 本地面積9.5ha×0.15m
計	(9.8) 9.7					

(2) 末端用水路等

該当無し

(第23表-2)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

(3) 末端排水路等

該当無し

(第23表-3)

区 分 \ 項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
計				

2. 暗 渠 排 水

(1) 暗 渠 排 水

(第23表-4-1)

該当無し

区 分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の配水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名 称	構 造	数量 (m/ha)	
			計														
計																	

(2) 心土破碎

該当無し

(第23表-4-2)

区 分 \ 項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3. 客 土

該当無し

(第23表-5)

項 目 区 分	面 積 (ha)			客 入 土 量 (m³)	土取場土量 (m³)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事 業 名							
			計					
計								

4. 除 礫

該当無し

(第23表-6)

区 分 \ 項 目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5. 農 地 保 全

該当無し

(1) 防 風 林

(第23表-7)

区 分 \ 項 目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植 栽 本 数	備 考
計						

(2) 排水路

(第23表－8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工

(第23表－9)

項目 名称	構造	数量	備考
計			

第8節 老朽ため池改修施設

該当無し

1. 貯 水 池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km^2)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m^3)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (km^3)	備 考
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m^3/s)	規 模 (m)	備 考	取水施設	型 式	取 水 量 (m^3/s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

(2) 漏水防止工

第6章 附帯工事計画

該当無し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 予 定	平 成 31 年 度
	(平 成 35 年 度)
完 了 予 定	令 和 6 年 度

第8章 環境との調和への配慮

1. 環境との調和に配慮した事項

(1) 配慮事項

地区内を流れる水路の多くはコンクリート水路であるが、一部に自然度の高い水路が存在しアブラボテやドジョウ、マルタニシなどをはじめ複数の水生生物が確認されている。また、地区内の水田は非かんがい期も過度に乾燥せず、水が残っている箇所が多く見られた。湿潤な環境はマルタニシをはじめカエル類の越冬場所や鳥類の餌場として機能していると考えられるため重要度が高い。ほ場整備により自然度の高い水路の改変や乾田化の進行が避けられない場合は、代替となる環境を創出することが必要である。水生生物が一年を通して生息可能な水路構造を採用することができれば代替環境として機能すると考えられる。

なお、ほ場周辺(畔・農道・水路など)に生育している植物については、どれも一般的な種であり特筆すべき種や環境がみられなかったことから特別な配慮の必要性は低いと考えられる。ただし、現地調査では特定外来生物のオオキンケイギクが確認されていることから、本種の生育箇所を改変する際は拡散を防ぐため、抜き取り～焼却処分が必要である。

(2) 工事方法等

ほ場整備工事後の自然の回復はある程度期待できるものの、水路等のコンクリート製品の設置による影響が心配される。

本地区では排水路において、小動物脱出スロープ付き水路やよどみ等を設ける。

2. 地域における意見聴取

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区では、狭小なほ場を大区画化ほ場に整理をすることにより生産基盤の整備を図り、耕作放棄地の解消・発生防止と優良農地を確保し、換地計画を作成するに当たり農地の集団化を行うと同時に、農地中間管理機構を通じて育成すべき担い手に利用集積を図るよう換地と利用権を一体的に進め、経営規模の拡大を図り、生産性の向上を推進する。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
下位田地区	京都府綾部市位田町	(11.2) 11.1

2 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
下位田地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、登記簿地積とする。ただし、測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合はその申出があった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

用途(取得 予定者) 換地工区 前 後		非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換 に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計	
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地 域に含める土地 (令第1条の9 () 書き)			計	本事業によ って生ずる 土地改良施 設用地			創 設 農 用 地 計	特 定 用 途 地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地						合 計	国	府	市 町 村 他			合 計
						土 地 改 良 施 設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計		宅 地	そ の 他	計		農 業 施 設 用 地	生 活 上 の 施 設 用 地	公 用 施 設 用 地	宅 地 等	計								
下 位 田 地 区	従前の土地	(10.3) 10.2	0.0					—	—					(10.3) 10.2			—						—	—			0.9	0.9	(11.2) 11.1	
	換地	(9.8) 9.7	0.0					—	—					(9.8) 9.7			—						—	—			1.4	1.4	(11.2) 11.1	
	従前の土地																													
	換地																													
合 計	従前の土地	(10.3) 10.2	0.0					—	—					(10.3) 10.2			—						—	—			0.9	0.9	(11.2) 11.1	
	換地	(9.8) 9.7	0.0					—	—					(9.8) 9.7			—						—	—			1.4	1.4	(11.2) 11.1	

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	1 個 当 り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い
下位田地区	特になし	各人の従前地が最も密集した位置	概ね1～2団地	固定畦畔

4 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

区 分 換地区	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他
	合 計					

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

標準地比準方式（土地の自然条件、利用条件等の評価項目について最も良い従前地の土地を標準地として選定し、その土地価格を定め標準地と比較しながら個々の土地を増減点で採点評価する。）

2 清算の方法

増価額比例地積清算（従前地地積比例）
 増価額（従前地の評価総額と換地の評価総額との差額）を従前地の地積に応じて比例配分した価額に従前地の土地の評価額を加えた（換地交付基準額）と換地の評価額との差額を清算する。

第5節 換地計画樹立の年度計画 （第25表－6）

区 分 換地区名	一時利用の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備 考
下位田地区	令和5年度	（令和6年度） 令和7年度	（令和6年度） 令和7年度	

第 6 節 換地事務処理体制

(第 25 表 - 7)

換地区名	選 定 事 務			処 分 事 務			備 考
	直営委託の区分	担当者格付け	着 手 期 間	直営委託の区分	担当者格付け	完 了 期 間	
下位田地区	委託	京都府土地改良 事業団体連合会	工事着手 令和 1 年度 換地選定事務 令和 1 年度～	委託 換地計画書作成 換地計画確定 換地処分 換地処分登記	京都府土地改良 事業団体連合会	工事完了 (令和 5 年度) 令和 6 年度 換地計画樹立 (令和 6 年度) 令和 7 年度 換地処分 (令和 6 年度) 令和 7 年度	
	従前図調整 従前地再調査 換地設計基準確定 評価基準及び評価 工事後の土地評価 換地計画原案作成			直営 分筆登記 相続等代位登記			

第 7 節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業名 区分		農地中間管理機構関連農地整備事業	備 考
	主 要 工 事	(280,578) 296,223	
	附 帯 工 事		
	地 方 事 務 費		
	計	(280,578) 296,223	
	関連事業(参考)		
	計		

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項 目 区分	年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	作物生産効果	(2,806) 243	(11,133) 92	
	営農経費節減効果	(11,432) 19,443	(11,432) 19,443	
	維持管理費節減効果	(-683) -583	(-245) -79	
	国産農産物安定供給効果	(2,472) 249		
	計	(16,027) 19,352	(22,320) 19,456	

(参考) 総費用総便益比 (1.10)

1.11

第 1 2 章 関連する事業

該当無し

(第 2 8 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第 1 3 章 現況・計画図面

1 現 況 平 面 図

2 計 画 平 面 図

3 換 地 関 係 図

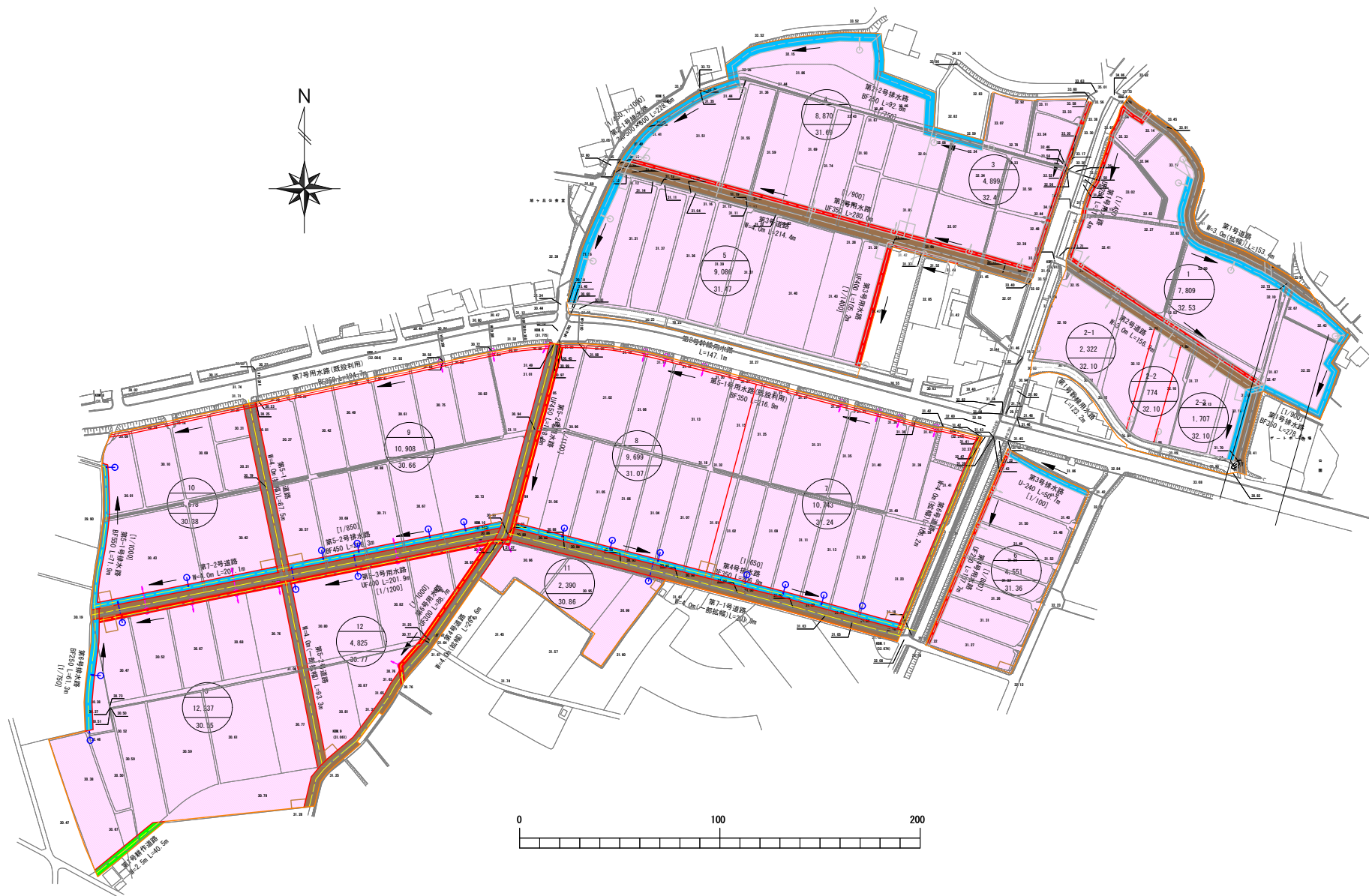
下位田地区 従前図



綾部市 位田町



下位田地区 計画平面図



換地計画原案図

